

「校長先生はコーヒーを飲んで、お客さんとお話して、お手紙（学校便り）を書くのが仕事か。」と小さい子どもから言われたことがあります。「少し違うんだけどなあ」と思いながら、「よく知っているね。まるで校長室を見ているみたいだ。」とかわいい頭を撫でさせていただきました。

自分で決める どういう自分になりたいか 何がしたいか

前に読んだ本に興味深いフレーズがありました。子どもを育てることで大切なことは、「自分で決める」「自分はという自分になりたいのか、何がしたいのかを考える」という文でした。

自分で決めるということは、子どもたちでも日常でたくさん迫られることです。「毎日何時に起きるのか」、「いつ宿題をするのか」、「家でゲームをしていい時間は何分なのか」、「自分はこのスポ少に入ってやってみたい」とか。でも親からこうしなさいと言われたからする子より、自分で決めた子のほうがはるかに長続きます。それは、子どもは自分が決めたからには頑張ろうと思うからです。

やる気になったことって皆さんにもおありだと思います。私が中学校時代に燃えたのは部活動でした。なぜか入ってしまった部活動で何度も辞めたいと思ったことはありましたが、細い体で大学時代まで続けました。教師になる道も、当たり前ですが自分で決めました。高校時代に経験した放課後児童クラブのボランティアに行ったのがきっかけでした。「俺は絶対子どもにかかわる仕事につく」そう決めて猛勉強しました。

どういう自分になりたいか、何がしたいかを考えることは、子どもたちには少し難しいことかもしれません。まだ先の進路選択のことのように思いがちです。しかし、今の自分でいいのか、これから先どういう自分になりたいかを、少しずつ考えられる子どもになってほしいと思っています。

自主性を尊重するのと、放任とは違います。自分で決めろと言われても、判断する材料は子どもには多くありません。しかも子どもは安きに流れがちです。こどもの自主性は尊重してもアドバイスは十分与える、そういう関係が子どもを伸ばすのではないかと思います。

昨日、6年生が人権集会を開きました。全校の前で一人一人が、自分はこんな人になりたいと発表し、これからの決意を示しました。自分を振り返り、自分で決めたことを、これからの羽合小学校やその先の中学校の生活の中で行動で示し、成長していったほしいと思っています。



年末年始の学校閉庁のお知らせ

冬休みの間、12月27日(金)～1月6日(月)学校は閉庁になります。12月27日(金)と1月6日(月)は土曜授業分の振替です。事故等、緊急に連絡をしなければならぬ場合は、学校携帯にご連絡ください。(学校携帯 080-6260-0679)